

At the Bus Stop

英語

At the Bus Stop

A : The bus is late.

B : Yes, it should have been here by now.

A : This bus is always late.

B : Too bad. This is the only way to get downtown.

A : Well, you could always walk!

B : Not in these shoes!

A : Ha-ha! But those are great shoes.

B : Thank you. I like them, too.

A : Are they comfortable?

B : No, not really.

A : They are so pretty, though.

B : Thanks.

A : I think the bus is finally coming.

B : Look! There are two of them.

A : That always happens.

B : This one is crowded. I will wait for the next one.

At the Bus Stop

A : I am late, so I will take this one.

B : OK. Nice talking to you.

A : Have a nice day.

B : Thanks, you too.

At the Bus Stop

日本語

バス亭で

A : バス、遅いですね。

B : そうですね、もう来ているはずなんですけどね。

A : このバスはいつも遅れますね。

B : 残念ですね。ダウンタウンに行くには、このバスに乗るしかないんですよ。

A : でも、いつでも、歩いて行けますよね！

B : このクツでは、無理です！

A : 素敵なクツですね。

B : ありがとう。私もこのクツ、好きなんです。

A : 履き心地はいいですか？

B : いいえ、履き心地はあまりよくないです。

A : ホントに素敵なクツですけどね。

B : ありがとう。

A : やっとバスが来たみたいだわ。

B : 見て！2台一緒に来たわ。

A : よくあることですね。

B : このバスは、混んでいますね。次のバスを待ちます。

At the Bus Stop

A : 私は、遅れそうなので、このバスに乗ります。

B : わかりました。お話して楽しかったです。

A : よい一日を。

B : ありがとう。あなたも。

At the Bus Stop

学習の仕方

このダイアログでは、AとBがあるので、どちらか選んで、片方のネイティブスピーカーのリピーティングをします。

たとえば、Bを選んだら、Bの音声を1行聞いたら、ポーズボタンを押して、ネイティブの英語をそっくり真似して音読します。

この学習法をリピーティングと言います。

リピーティングは、スピーキング、リスニング、発音の上達の効果があります。

イヤフォンかヘッドフォンをつけて学習することをオススメします。イヤフォンをつけることで、リスニングがしやすくなるのと、学習に集中しやすくなるので、イヤフォンをつけるだけで、学習効果が倍増します。

リピーティングを何度かして、上手くネイティブが話す英語を真似できるようになったら、今度は、ネイティブと同時に、ダイアログを見ながら、英語を話してみましよう。

あなたが話す部分は、AかBかどちらか1つの部分です。

そして、この時、大事なことは、**ネイティブスピーカーになりきって英語を話す**練習をすることです。

最初にBでリピーティングをしたら、今度は、Aでリピーティングをしてみましよう。

このSmall Talk（スモールトーク）は、アメリカでよくある、典型的な会話です。Small Talkが

At the Bus Stop

できるようになると、アメリカ人に声をかけられた時などでも、一言返答して、終わってしまうのではなく、そこから、会話を弾ませることができます。

ネイティブスピーキングでは、6つのよくある状況での Small Talk の「カンニングペーパー」を用意したので、6つの Small Talk をリピーティングすれば、会話を弾ませることができる Small Talk がマスターできます。